



Inona ny vaovao?

イヌナ ニ バオバオ？
何か良いことあった？

マダガスカル 青年海外協力隊 通信 第14号 (2018/12/17) 福長 輝倅

今回のテーマ; **大統領選挙!** 日本の選挙とは**大違い!** (※ 決して誰かを応援しているわけではありません)

福長 輝倅 (FUKUNAGA TERUYUKI)

隊次: 2017年度2次隊

活動国: マダガスカル

赴任地: アンズルベ

(首都から約3時間)

職種: コミュニティ開発

前職: 教師(非常勤/社会科)

出身: 岡山県・岡山市



マダガスカルってどんなところ?

公用語: マダガスカル語・フランス語

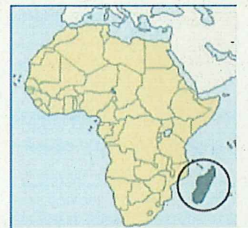
人口: 約 2500万人 (日本の6分の1ほど)

国土: 587,000 km² (日本より大きい!)

首都: アンタナナリボ

宗教: キリスト教及び伝統宗教、
少数派イスラム教

民族: 約 18部族



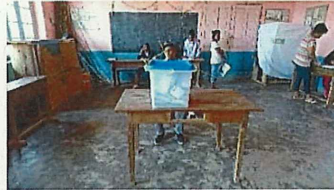
① 大統領選挙? -マダガスカルは国民が大統領を選ぶ! -

現在マダガスカルは大統領選挙の真っ最中! 日本は首相を国民が選挙で直接選びませんが、マダガスカルは国民が大統領を選挙で選びます! 選挙はざっくりいえば流れはこんな感じ!

① アピール合戦、プロパガンダ!



② 投票!



③ 代表2名の決戦選挙! (明後日)



② 投票日までの様子 - 踊る・歌う・配るプロパガンダ -

まずは、投票日までの選挙活動であるプロパガンダをご覧ください!



① 突然町に候補者応援スポット登場

投票日の一か月前くらいから、町が急に変わり始める。まず、町のいろんなところに候補者のスポットが登場する。壁を壊したり、色の塗り替えなんて当たり前。



② 応援する人と車の出現; 普段、こういうトラックには牛がいます。しかし、選挙中は人。

大量に積み込まれて、トラックや車から手を振り応援します。トラックのほかには、貸し切りバス、自転車隊、などが出現します。



③ 耳に残り、口ずさんでしまう応援歌; マダガスカル選挙といえば、応援歌。ほんとに一日中流れています。あまりいつも聞きすぎて、無意識に口ずさんでしまうようになります。。口ずさんでしまうと、もう手遅れ。



④ **シャツ配り人間出現!** ここは民家。しかし、大行列。そう、みんな候補者が配る T シャツをもらいに来ています。候補者によって、色はもちろん生地が違いますので、良い生地の候補者は人気になります。笑そのため、T シャツは奪い合い。

⑤ **選挙があるとアンテナが増える?** 選挙が近くなると、壁にこの謎の絵が増えました。実は、選挙に合わせてテレビを見る人が増えるので、アンテナの広告が増える! 確かに、町にアンテナが増えたような、増えていないような。

⑥ **選挙にはお金がかかり過ぎる?!** T シャツだけがもらえるなんて大間違い。帽子、腰巻き、ポスター、パンフレット、バンダナ、サッカーボール、カレンダーだってあります。さらに、宣伝部隊のアルバイト料の支払いなど、僕は立候補できそうにないです。

③ さあ、選挙に行こう! - ゆるゆるの警備なかの撮影 -

さあ選挙当日! 基本的に農家以外のお仕事はお休み! 願えば写真も撮らせてくれる選挙の様子をご紹介します!



⑦ **投票しに学校へ行こう!** 日本でも、学校が投票所に使われますね! ただし、マダガスカルは平日に選挙があるので、選挙日は学校は休み! では、町に子供が溢れ大にぎわい、かという、以外に静か。あれ?

⑧ **住んでいる地域の確認が終わらない** 投票所は住んでいる地域によって分けられます。しかし、大変なのは投票する人の名簿探し。名前はみんな似ているし、リストはたくさんあるし、



⑨ **選挙はちゃんと秘密にします** 選挙で大事なことは、秘密にすること。教室の隅っこに作られた布のスペースに人々は歩いていき、カーテンをめくります。そして、中に入って投票完了。カーテンだけで大丈夫? なんて思うかもしれませんが、案外しっかり作ってあるので大丈夫。

⑩ **分かりやすい投票用紙で、36人から選ぼう!** なんと今回の選挙で、大統領候補は36人いました! それだと顔や名前を覚えられない、なんて心配りません。 投票用紙には、みんなの顔が書いてあります! 写真で見ると、やっぱり多いですね。

④ 今年もお世話になりました! - 帰国するまで楽しい世界をお伝えします! -

なんと、今年ももう終わり。早いですねー、しかも、来年の10月には帰国です、残りもあとわずか!



左の写真は何をしているところだと思いますか? 実は、学校の補習授業を手伝うために、勉強している地域住民の様子です! なんと、小さい男の子を背負いながら算数の問題を解いています! 本当に女性は強いなあと改めて感じた瞬間でした。

こんな感じで、マダガスカルに来て1年以上たちますが、まだまだ驚きであふれています! 世界は広く面白い! 来年もさらに面白いマダガスカルの世界をお届けします!